

# 「自撮り」の文化

## コミュニケーションの

## 新ツール

人はなぜ自撮りをイ  
ンターネットに投稿  
し、それがブームに  
なっているのか。「自  
撮りの投稿には自分を  
良く見せたいという自  
己顕示欲と、他者に認  
められたいという承認  
欲求の心理が働いてい  
る」と分析するのは、

江戸川大学社会学部人  
間心理学の中村真教  
授（社会心理学）だ。  
スマートフォンによ  
る自撮りはこれらの心  
理を満たす格好のツ  
ールだという。お気に入  
りのショットが撮れる  
まで、自分で何度でも  
撮り直しができる。従  
来のように他人に撮影  
を依頼することも、撮  
り直しを頼むことに伴  
う気遣いも不要になっ  
た。

また、自撮りを投稿  
することは対人コミュ  
ニケーションを図るた  
めの新たなツールにも

なっている。中村教授  
によると、人は他者と  
関わりながら生きてい  
く社会的存在だとい  
う。つまり、人は他者  
と自己を相対化するこ  
とで、自らを評価した  
り、行動の指針を決め  
たりしている。

特に、まだ生き方や  
考え方に自信や確信を  
持てない思春期・青年  
期の若者は、体験や感  
情を共有できる友人の  
存在を生きていくため  
の支えとする傾向があ  
る。よって、自分と同  
じような立場にいる仲  
の良い友人がどのよう  
な投稿をするのかは、  
若者にとって非常に重  
要な情報源になってい  
ると言える。

### ブームの背景には

自撮りの普及には、  
流行や同調の心理があ  
るとも指摘。周囲の人  
たちが自撮りを投稿し

コミュニケーションを  
図っている流れに乗り  
遅れたくないという気  
持ちがこの流行を促進  
した。

また、相手が自分に  
提供してくれたのと同  
等の情報を、自分も相  
手に返さなくてはいい  
けないという「自己開  
示」の返報性の心理  
や、相手が自分に「い  
いね」をくれたら相手  
にも「いいね」を返す  
べきであるという模範  
意識に基づく反応がさ  
らなる投稿を促す。こ  
れらの相乗効果が自撮  
りブームを飛躍的に促  
進させたと分析してい  
る。

### 自撮りの問題点

中村教授は、自撮り  
の投稿は若者のコミュ  
ニケーションの拡大に  
恩恵をもたらす反面、  
危惧すべき問題もある  
と話す。現代では写真

しかし、自分の考え  
や体験を言語的に筋道  
立てて伝える機会が減  
少した。さらに自撮り  
は、他人と協調して生  
きていこうとする本来  
の人間のあり方に逆  
行しているとも言及。  
テーマパークなど人の  
多い場所で自撮り棒を  
使用する際に自分の世  
界に没入し、自分本位  
になりがちだと例を挙  
げた。

「自撮りの投稿に夢  
中になりすぎるほどデ  
メリットも生じる。本  
来の生活をベースに対  
人関係を豊かにする  
ツールのひとつとし  
て、依存し過ぎず主体  
的に付き合うことが望  
ましい」と注意した。

（加藤風花）